

議会報告会

平成25年11月13日～22日

- 1 開会あいさつ（6分程度）

- 2 出席議員の紹介（4分程度）

- 3 議会報告（質疑応答を含む）
 - ① 山頭火ふるさと館整備について（20分程度）
 - ② 市職員給与削減について（8分程度）
 - ③ 決算の認定について（7分程度）
 - ④ その他 市議会の取組み（15分程度）
 - ア 総合交通体系調査特別委員会
 - イ 議員政治倫理条例の制定
 - ウ 中小企業振興基本条例検討協議会

- 4 意見・提言（55分程度）

- 5 閉会あいさつ（5分程度）

① 山頭火ふるさと館の整備について

- 平成24年 9月議会－土地購入費を否決(1回目)
- 12月議会－土地購入費を否決(2回目)
- 執行部と議会との協議会設置の決議を可決
- 平成25年 2月－市長が基本計画を大幅修正(延床面積966㎡→500㎡)
- 3月議会－土地購入費を否決(3回目)
- 6月議会－土地鑑定評価料を認める
- 7月23日－地元・関係者への市説明会(松崎公民館)
- 8月全員協議会－施設計画変更(延床面積500㎡→700㎡)
- 9月議会－土地購入費を認める
- 市執行部の考える今後のスケジュール
- 平成26年度－基本設計、実施設計
- 平成27年度－建設工事着工
- 平成28年12月－開館予定

平成25年 6月議会

■平成25年度一般会計補正予算
歳入歳出予算の総額にそれぞれ10億9、273万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ376億6、932万7千円としました。

内容としては、山頭火ふるさと館整備予定地等の鑑定費用、介護施設開設準備のための経費補助金、新橋牟礼線(牟礼柳(酢貝)道路整備の測量設計委託料、市指定文化財阿弥陀寺仁王門の修理工事費補助金等です。

山頭火ふるさと館整備予定地等の鑑定費用を削除する修正案が出されましたが、否決し(賛否No.1)、原案を可決しました。(賛否No.2)

平成25年 9月議会

■平成25年度一般会計補正予算
2億9、370万6千円を減額し、補正後の予算総額を373億7、562万1千円とする予算案が提出されました。

主なものは、工事計画の見直しによる桑山中学校及び右田小学校改築事業についての減額、山頭火ふるさと館整備予定地土地購入費等4、380万9千円、毛利氏庭園駐車場と潮彩市場防府に電気自動車専用急速充電設備を設置する費用1、348万9千円の追加などです。

山頭火ふるさと館整備事業については、全国随一の山頭火の顕彰・交流施設、自由律俳句の一大拠点にふさわしい施設とするためには、長細く面積も小さい整備予定地では十分な展示スペースや駐車場を確保できないことから、土地の購入経費を減額する修正案が提出されました。

これに対し、形状等には多少の問題もあるが、それらについては今後も善処していくことであり、天満宮どうめてらすに近く、観光面の回遊性を考えれば計画地は最適であるとの原案賛成修正案反対の意見も出されました。採決の結果、修正案は賛成11、反対13で否決。(賛否No.3) 原案は賛成多数で可決されました。(賛否No.4)

② 市職員給与削減について

平成25年6月議会

焦点 職員給与の削減

削減案は否決。賛否の討論を紹介します。

■削減に賛成

和田敏明（和の会） 国は東日本大震災の復興財源確保のため、国家公務員の給与を削減。職員は公僕とはいえ、更なる給与削減は生活設計に影響し、苦しい決断だ。国は地方交付税削減の方針であり、市民サービス低下が危惧される。豪雨災害では全国から励まされた。職員給与を削減され財源確保する英断に賛成する。

■削減に反対

今津誠一（和の会） ①景気を良くして賃金の上昇、消費の拡大でデフレを解消するというアベノミクスに反する。②国家公務員の給料削減は、成長戦略のない民主党政権下での決定で、今日これに従う必要はない。③防府市は既に職員定数や給与の削減を実施してきた。④市経済に与える影響は甚大である。市内景気は落ち込む。⑤全国市長会はこれに反対し、秋、美祿、岩国市等は削減しない。⑥削減相当分2億円は市内共通商品券購入を職員にお願いし、景気浮揚を図るべきである。

山本久江（日本共産党） 全国地方6団体が共同声明で、地方公務員の給与削減の強制は、地方自治の根幹にかかわる問題と抗議。地方公務員給与は地方公務員法により、条例で決まる。県内4市2町は削減しない方針で、職員削減、給与減額の既に実施を理由としている。防府市も職員を削減し、人口1万人当りの一般行政職員数は県内13市で最少。厳しい経済状況で、大幅な給与削減は民間に影響し、地域経済もマイナス。田中健次（市民クラブ） 国が自主財源の地方交付税を使い職員給与を下げさせるのは地方自治の根幹をゆがらす問題。地方公務員給与は自治体で決めるもの。地域経済への影響もある。

8月臨時議会

8月臨時議会が8月9日に開催され、議案3件、承認1件を審議しました。その概要をお知らせします。

■市職員給与の減額に関する条例

6月定例議会では市職員給与を減額する条例は賛成9、反対15で否決されましたが、削減額を半分にする形で再提案されたものです。

削減の総額が半分に限り地域経済への影響は緩和され、また政権与党の立場もあるとして、6月議会では反対した議員のうち5名が賛成に転じ、賛成14、反対9、欠席1で条例は可決されました。（賛否No1）

市職員給与は本年9月から来年3月まで平均4.1%減額されます。また、関連の一般会計補正予算も同様可決されました。（賛否No2）

③ 決算の認定について

平成25年9月議会

平成24年度防府市一般会計決算の概要

歳入	432億1598万7480円
歳出	416億4965万7031円
歳入歳出差引額	15億6633万449円

■平成24年度一般・特別会計決算を不認定
 富海の林道地吉線改良工事に関して疑義がある等の反対意見が出され、賛成10、反対13で不認定としました。(賛否No.6) 賛否の討論は、10頁をご覧ください。
 決議は不認定となつても効力は影響は及びませんが、執行部は、政治的、道義的責任を問われることとなります。

平成24年度決算・賛否の討論

■決算承認(賛成)

田中敏靖(和の会) 市民の要望が実施された決算と判断している。防犯灯のLED化、公共施設の耐震化調査、学校の耐震化も着々と進んでいる。

林道地吉線の改良工事は、執行部も業者も何ら責任は無い。公共工事標準請負約款では、工事現場の形状、自然的な施工条件等で実際と差があった場合には変更もやむを得ないとしている。昨年8月の議会産業建設委員会の調査報告書でもやむを得ないとしており、承認します。

高砂朋子(公明党) 前から主張・要望してきた出産環境の確保、5歳児発達相談・予防接種の実施等、子育て、健康、高齢・障害福祉、防災等の予算が執行されており、評価し、承認します。

■決算不承認(反対)

松村 学(明政会) 林道地吉線改良工事は、平成4年より20年間で、大規模な崩落が3度起こったのは初めてで、以下により不承認とする。①業者が法面を急角度に切り間違えたことの疑義が払拭できない。雪崩盤が工事中に見えられた時点でボーリング調査をすべきであったが、業者も市も何の対応もしていない。②そのため、第3次災害を引き起こし、補修工事と地質調査の経費が、無駄となり、今後も本格調査、抑制工等で予算が

必要となる。③工事が完成していない状態で、完成検査、変更契約され、業者に工事費が支払われているがその金額に疑義がある。

木村一彦(日本共産党) 行政改革の名で住民サービスの縮減、業務の民間委託が進んだ。職員削減は進み、負担は増大し、市民サービスに支障をきたしている。他方、非正規職員が増大し、「官製ワーキングプア」を生む要因にもなっている。

国民健康保険料は所得の10%を超え、市民の負担は耐え難い。決算では、国が示す基準を超える余裕があり、保険料の引き下げにまわすべき。さらに、介護保険料の値上げ、後期高齢者医療の負担率上昇がされ、更なる負担を強いる。以上の点で認定できない。

田中健次(市民クラブ) 国民健康保険は一般会計からの繰入を増やして保険料の軽減を図るべき。介護保険料が約20%アップされ、市民に負担をしいるもの、後期高齢者医療は保険料率が上げられているほか多くの問題があり認められない。

林道地吉線は、住民訴訟が進められており、現状では判断がつかない。久保潤尚(無所属の会) 林道地吉線改良工事は、工事契約を変更し、当初よりも小さい内容での工事完了にもかかわらず、契約変更前と同額の代金が支払われ、執行部の説明に疑義が残る。

④ ア 総合交通体系調査 特別委員会の報告

総合交通体系調査特別委員会

3月議会で、総合交通体系調査特別委員会(定数11人)が設置されました。主要幹線道路網整備、海上交通、生活交通及び環境に配慮した交通手段も含めた総合交通体系の諸問題について調査研究していきます。(期限：平成26年12月定例議会まで)

4月16日に開催された第2回委員会では、生活交通についてのこれまでの取り組みについて議論されました。

委員名簿 ◎委員長、○副委員長

◎山田耕治(絆) 橋本龍太郎(政龍会)

○田中健次(市民クラブ) 藤村こすえ(和の会)

河杉憲二(絆) 松村 学(明政会)

木村一彦(日本共産党) 山下和明(公明党)

久保潤爾(無所属の会) 和田敏明(和の会)

清水浩司(和の会)

※特別委員会 複数の常任委員会にわたるものや特に重要な市政の課題について、調査研究や審査をするために設置されるものです。

総合交通体系調査特別 委員会の報告 (4月16日・5月28日開催)

4月16日に開催された

本委員会では、平成24年度防府市生活交通利用促進月間報告、防府市における生活交通網再編成に関する研究及び生活交通に関するアンケート調査結果について、執行部から説明を受けました。

「今年度は、交通体系の中で、生活交通を最も重視しなければならぬ。タクシードライバー、路線バス運行事業者、地区住民と意見交換し、新たな生活交通体系を提言していくとはどうか。」との意見等がありました。

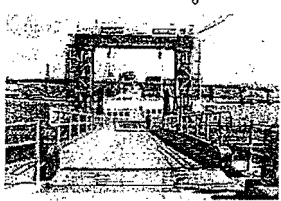
「最初から生活交通に特化するのではなく、都市計画道路や港湾関係など防府市の全ての交通体系の現状を知ることから始めるべきだ。」との提案を受け、まずは全ての交通体系の現状について関係部局から説明を受けることとなりました。

5月28日に開催された

本委員会では、港湾整備幹線道路の整備、生活道路の見直しについて、執行部から現状の説明を受けました。

港湾整備については、県事業として、三田尻港に耐震岸壁を造る計画があること、市として、潮彩市場活性化のため、県所有の緑地の再整備を県に要望していること、また、野島航路の船着場を潮彩市場側に移設する構想の報告がありました。

今後は、生活交通システム、JR駅のリアフリー化等について執行部の説明を受けることとなります。



野島航路船着場

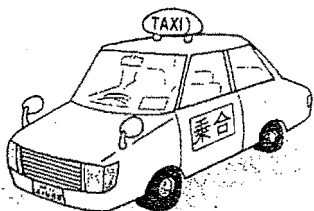
総合交通体系調査特別 委員会の報告 (7月29日開催)

前回に引き続き、交通体系の現状を把握するため、駐車場・駐輪場の整備、福祉タクシー、環境配慮型公用車、生活交通について、執行部からの説明を受けました。

「デマンド型乗合タクシー制度が導入されると福祉タクシー制度と競合する地域が出てくるので、どちらの制度が利用者にとって有利であるか整理しておく必要がある。」等の意見がありました。

デマンド型乗合タクシーの導入については、「高齢化率が高く、買物や通院に不便な小野・大道・富海の一部地域で予約時のみ運行し、複数人で乗り合つことを検討しています。」との説明に対し、「計画では、小野地区は最寄りのバス停までの運行となっているが、JR防府駅までの運行できないのか。」との質疑に対し、「既存のバス路線と競合するコースは認められない」というバス事業者の意見があり、最寄りのバス停までとしています。」との答弁がありました。

今後の委員会
の方向性について
では、交通体系
の現状を踏ま
え、調査対象の
絞込みをしてい
くことを決定し
ました。



④ - イ 議員政治倫理条例の制定について

■防府市議会基本条例（平成23年4月1日施行）

第10章 議員の政治倫理、身分及び待遇

（議員の政治倫理）

第26条 議員は、市民の代表者として、その倫理性を常に自覚し、品位を保持し、識見を養うよう努めなければなりません。

2 議員の政治倫理の規範については、別に定めます。

■議員政治倫理条例の検討している主な内容

- ①政治倫理基準－議員が遵守すべき行為規範
- ②政治倫理審査会－政治倫理基準に反する行為の疑義の調査をする。
- ③市民の調査請求権－政治倫理基準違反の疑いについて、市民が調査を請求するためのもの。
- ④問責制度－議員が職務関連犯罪で起訴され、なお職にとどまろうとするとときに、住民が説明会の開催を求め、責任を追及することができる。

④、ウ 中小企業振興基本条例検討協議会の報告

政策討論会

中小企業振興を論議

平成11年に中小企業基本法が改正され、地方公共団体は、それぞれの地域にあつた形で、施策を策定・実施しなければならなくなりました。地域経済が疲弊し、どの地域でも、地域の個性に合わせて、自治体、企業、住民が協力しながら、地域の活性化に取り組み必要性が生れています。県内でも、岩国市、山口市、宇部市が中小企業や地域産業の振興条例を制定しています。

1月16日の市議会政策討論会で、「中小企業振興基本条例」を制定すべきとの提案がされ、今後の取り組みについては、会派代表者会議で具体化していくこととなりました。

※政策討論会 重要な政策や課題について、議員が一堂に会し、意見交換する場として、議会基本条例第15条に定められています。昨年度は、政策討論会での議論がスタートとなり、空き家等の適正管理に関する条例の制定やソルトアリーナの料金改定が実現しました。

中小企業振興基本条例検討協議会が発足

市議会の中小企業振興基本条例検討協議会が4月19日に発足しました。今後、市執行部、商工団体等と協議を進め、中小企業振興基本条例の制定を目指します。

委員名簿(◎会長、○副会長)

- ◎安藤 二郎(絆) 田中 健次(市民クラブ)
- 安村 政治(政龍会) 橋本龍太郎(政龍会)
- 上田 和夫(明政会) 山田 耕治(絆)
- 木村 一彦(日本共産党) 吉村 弘之(明政会)
- 久保 潤爾(無所属の会) 和田 敏明(和の会)
- 高砂 朋子(公明党)

議場コンサートのご案内

防府音楽祭 ほうふニューイヤーコンサート2014

オープニング街角コンサート

日時 1月10日(金)12:00より

場所 防府市役所 議会棟議場(防府市役所4号館うら)

出演者 景山裕子(ヴァイオリン)、松本さくら(ヴァイオリン)、林康夫(ヴィオラ)、
田中雅弘(チェロ)、山本和彦(コントラバス)

入場無料